

2008年 夏季 医療・福祉政策学校プログラム

「生きる」・「究める」

— 『講座 医療政策史』 出版から40年 —

1日目は野村拓、三塚武男両氏による「生きる」・「究める」対談です。
今年、1968年に野村拓先生が『講座 医療政策史』を著されてから40年目です。
三塚武男先生（同志社大学名誉教授）は、「医療政策史」が『健康会議』に連載されていた頃、「医療政策批判の視点」「生活問題」「健康」を考える上で、掘りどころになったとのこと。生命・生活・健康の再生産の条件、社会保障・社会福祉研究の諸問題など、参加者からの質問に答えていただく時間も取っております。皆様お誘いあわせのうえご参加ください。

2日目は様々な現場における実践を中心に、保健、医療、福祉に関する政策のあり方にせまります。報告希望者をご連絡ください。

と き：2008年8月23日（土）・24日（日）

と ころ：赤目温泉・対泉閣（名張市赤目 TEL：0595-63-3355）

参加費：院生／学生：10,000円、社会人：20,000円

1泊3食（※26日：夕食、27日：朝食・昼食）

★ 参加費は申し込みと同時に下記の口座にお振り込み頂ければ幸いです。

または、参加費を合宿当日持参という方法もあります。

★振込先 福井銀行文京支店 医療・福祉政策学校 高木和美

（イリョウフクシセイサクガッコウ タカキカズミ）

口座番号 1185297

申し込み先：514-0112 三重県津市一身田中野 157

津市立三重短期大学 生活科学科 長友薫輝

E-mail：nagatomo@tsu-cc.ac.jp

（代表）TEL：059-232-2341 FAX：059-232-9647

参加申込期限：2008年7月31日（木）までにお申し込みください。

アクセス：近鉄「名張駅」東口からマイクロバスの送迎があります。

集合時間：2008年8月23日（土）13：00

▲13：10分頃にマイクロバスが発車します。

集合場所：近鉄「名張駅」東口（※大阪から進行右側、名古屋から進行左側）

▲自家用車等で直接会場へ行かれる方は、申し込みの際、その旨ご記入下さい。

2008年 夏季 医療・福祉政策学校プログラム（仮）

「生きる」・「究める」

— 『講座 医療政策史』 出版から40年 —

■ 1日目（14：00～18：00）

14：00～14：30

- (1) 「学校紹介」 長友 薫輝（津市立三重短期大学）
(2) 今回のテーマ設定について 高木 和美（岐阜大学）

14：30～16：00

- (3) 「生きる」・「究める」対談 第1部
野村 拓（北九州医療・福祉総合研究所所長）
三塚武男（同志社大学名誉教授）
司会 安井喜行（大谷大学）

（休憩 16：00～16：20） 参加者からの質問を集めます。

16：20～17：50

- (4) 「生きる」・「究める」対談 第2部

■ 夕食交流会 18：00～（「生きる」・「究める」対談 第3部）

■ 2日目（9：00～11：50）

- (5) 病院政策の実践—病床転換をふまえて— 道端達也（玉島協同病院院長）
(6) 医師の専門性の中で、どうターンをするか、について考える
後藤幸一（聖隷福祉事業団十字の園診療所所長）
(7) 児童養護施設における子どもと親の健康・生活問題に関する実態調査から
堀場純矢（中京女子大学）

* このほかに現場からの報告、修論・博論報告など

※12：00～ 昼食後、解散となります。名張駅への送迎バスにご乗車ください。